

当院感染対策のご案内

外来での感染対策

外来では密を避けられるように、椅子を離して配置し、出入口を開放して換気に努めるなど、感染対策を実施しております。受診される皆さまにはマスク着用、手指消毒、来院前の検温と体調確認をお願いしております。ご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



診察室での感染対策

診察や福祉相談、外来 OT、カウンセリングなど、室内での受療に際しまして、仕切り（アクリル板）の利用や窓の開放、消毒作業といった感染対策に取り組んでいます。

面会について

皆様に安心してご面会いただけるように予約制の上、感染予防の観点から右記の通り、多岐に渡るご協力をいただく形でご面会いただいております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



皆さまへのお願い

- ・マスク・手指消毒
- ・検温・体調の確認
- ・時間 20 分まで
- ・お二人まで
- ・飲食のお控え
- ・感染防止フィルム

皆様には日頃より

当院の取り組みについて深いご理解とご協力をいただき

ありがとうございます

医療法人静光園 第二病院



《 理 念 》

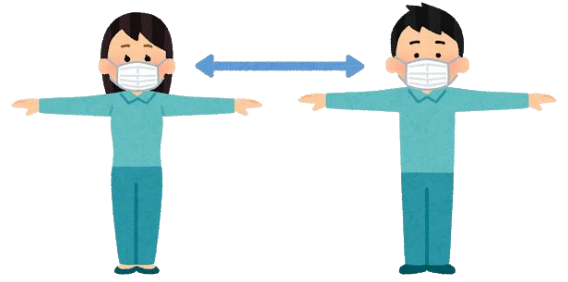
1. 人権を尊重した優しい医療
2. 自由で開放的な医療
3. 地域に開かれた医療

《 基 本 方 針 》

1. 患者様の人としての尊厳と権利を大切にします。
2. 十分な説明と同意のもとに患者様およびご家族とともに考える医療を行います。
3. 社会復帰の促進に力を注ぎ、患者様の自立を支援します。
4. 地域社会との交流を深め、「医療」「保健」「福祉」が一体となった医療の提供に努めます
5. 職員は日々の努力を怠ることなく、調和のとれたチーム医療を実践します。

ソーシャルディスタンス体験 ~新しい生活様式のために~

新型コロナウイルスによる感染への対策が始まってからよく耳にするようになった3密（密閉・密集・密接）やソーシャルディスタンス（社会的距離）という言葉。入院している患者様の中にはこうした新しい生活様式を体験したことがない方もたくさんいらっしゃいます。そこで病棟スタッフと当院心理教育グループが協力して、新しい生活様式に戸惑わないように体験の場を用意してみました。



手早く用を済ませたり、人と2メートルの距離を保ったり、今ではスーパーでの買い物や病院での待合室、仕事など様々な場面でその意識が高まっている“ソーシャルディスタンス”。実際に示してみようと、2メートルの測り方を伝えて見せたところ、患者様から「思っていたより広い」「そんなに空けないといけないんだ」と驚きの声が上がったことはとても印象的でした。また、スーパーのレジを模した場面で、どのように買い物をするようになったか、新たなシステムについても体験していただいています。今では見慣れた飛沫防止シールドやお釣りの受け渡し方も、患者様にとっては未体験の事態です。ソーシャルディスタンスへの意識を保ち、新たな生活様式に馴染まれるよう、今後も習慣化のお手伝いを続けていきます。



専門家会議「新しい生活様式」の実践例

濃厚接触の定義は4月20日の時点で「1メートル以内の距離で」「マスクなしで」「15分以上会話」した場合とされています。逆を言えば「1メートル（できれば2メートル）の間隔」「マスク着用」「15分以内の接触」を気掛けいくことは感染拡大への対策の要となります。

加えて、感染のリスクを下げる新しい生活様式として、たくさんの方々の創意工夫により、様々な場面に応じた行動指針が示されています。右に挙げられるもの以外にも、換気や手洗いといった主な感染症対策も有効です。

ただ、生活する中で気づくとルーズになってくるところもあると思います。1ヶ月に1度はこうした指針を確認してみることも役立つかもしれませんね。なお、すべてを取り入れて生活するとストレスがたまってきてしまうこともあるでしょう。取り組めるものを選んで、「自分がうつさない・うつらない」意識と行動を保っていきましょう。

買い物 	<ul style="list-style-type: none"> ・通販も利用する ・1人または少人数で空いた時間に ・電子決済を利用する ・計画を立てて素早く ・展示品への接触は控えめに ・レジに並ぶときは、前後をあける
娯楽、スポーツ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は空いた時間、場所を選ぶ ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用 ・ジョギングは少人数で ・すれ違うときは距離をとる ・予約制を利用してゆったりと ・狭い部屋での長居は避ける ・歌や応援は距離をとるかオンラインで
食事 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰りやデリバリーも利用する ・屋外空間で気持ちよく ・大皿は避けて、料理は個々に ・対面ではなく横並びで座る ・おしゃべりは控えめに ・お酌や回し飲みは避ける
公共交通機関の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話は控えめに ・混んでいる時間帯は避ける ・徒歩や自転車も併用する
冠婚葬祭や親族行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・多人数での会食は避ける ・風邪の症状があるなら参加しない

8月、筑波大学によって行われた全国調査によると、新型コロナウイルスの流行により8割の方がストレスを感じ、その半数近くが「とても強くストレスを感じた」と回答したそうです。これは平時のストレス体験状況に比べると大きな変化だとされており、わたしたちが今おかれている状況がいかに特異的な事態かということをお知らせします。



こんなことはありませんか？

□テレビやインターネットで新型コロナウイルスのニュースばかり見てしまう

あまり新型コロナウイルスの情報を集めすぎると必要以上に不安や悲観な気持ちが大きくなってしまいます。またインターネットでは情報が誇大であったり、デマである可能性もあつたりしますので必要な情報を必要なだけ知った後は情報の収集を控えましょう。

テレビを消して読書したり感染対策を行った上で散歩したりなど試みてはいかがでしょうか。屋外での運動はストレス発散だけでなく日頃の運動不足解消にもつながります。



□外出を控えているので一日中家で寝ていて、やることもなくボーとしてしまう

長時間の睡眠は睡眠の質を低下させてしまいます。また活動量が減るとさらに睡眠の質を低下させてしまうので屋内でもできること、楽しいことを見つけましょう。ストレッチや筋トレなどの体を動かすものは運動不足解消に繋がり、ボードゲームやジグソーパズルなど頭を使うものは没頭でき、気持ちの切り替えにも有効です。



□だれかとの会話や接点が少なくなって孤独感を感じる

コロナウイルスにまつわる状況に、普段以上に家族や友人とのつながりを意識させられていませんか？たしかに直接の会話は難しく、いつものように人との接点を持ちづらい状況に、電話やSNS、オンラインを活用するなど工夫を求められています。今感じている感情や思いを誰かに話すことや周囲の人が感じていることを聞き共有することは孤独な気持ちを和らげてくれます。この状況だからこそ、人とのコミュニケーションを大事にしていくよう心掛けていきましょう。なお、特に高齢の方の場合、日中の活動量が低下すると認知症の発症や進行の恐れが出てきます。こうしたご時世だからこそ地域や家族内での見守り、声掛けを十分に行っていただき、少しでも異変や懸念があった場合は当院やかかりつけ医、地域包括支援センターなどに相談していただければと考えます。

		診療実績			
		5月	6月	7月	8月
外来	全体延件数	2047人	2269人	2285人	2187人
	一日平均実人数	81.9人	87.3人	87.9人	91.9人
入院	病床利用率	99.65%	99.29%	99.58%	99.26%
	平均入院者数	183.4人	182.7人	183.2人	182.6人

今後の予定



新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事を自粛しております。



医療法人静光園「第二病院」

院長 吉田 卓生

診療科目 内科・神経科・精神科（メンタルクリニック）
 診療内容 精神保健相談・老人保健相談・児童思春期相談
 心の相談・ストレス相談・作業療法
 デイケア・デイナイトケア・ナイトケア

交通のご案内



〒836-0885 福岡県大牟田市下池町29番地

TEL. 0944-52-8881 (代)

FAX. 0944-52-6660

ホームページ <http://daini.or.jp/> ※リニューアル致しました。

大牟田駅より 西鉄バス 「有明高専行」15分
 萩尾1丁目バス停下車 徒歩3分
 大牟田駅より タクシー10分
 南関インターより 車で約30分

関連施設

社会復帰センター
 ウォルネットキャビン
 「くるみ館」



TEL0944-51-5454

自立生活訓練施設
 (通所・宿泊型)
 「アプリコットハウス」



TEL0944-52-0022

就労継続B型施設
 「森の工房どんぐり」



TEL0944-52-7575

- グループホーム
 「希望が丘荘」
 「さくらガーデンハイツ」
- 共同住居
 「萩ハイム」
 「英知フラット」



小規模多機能ホーム
 「つぼみ」
 地域交流ひろば
 「ささはら」

TEL0944-85-0185

デイサービスセンター
 「里桜」

TEL0944-85-0261

小規模多機能ホーム
 「ぶどうの木」
 地域交流ひろば
 「いちの」

TEL0944-32-8001

小規模多機能ホーム
 「たけとんぼ」
 高齢者グループホーム
 「やまぼうし」
 地域交流ひろば
 「ひばりヶ丘」

TEL0944-53-7778

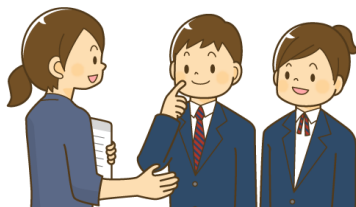


地域活動支援センター
 「あじさい」



TEL0944-55-8555

カウンセリングルーム
 フリースクール
 「ソフィア」



TEL0944-52-8889



編集後記

昨年末より流行している新型コロナウイルスですが、一時より感染拡大に歯止めがかかっている印象です。1人1人が日頃、感染対策しているおかげだと思いますのでこれからも新しい生活様式を実践し心と体の健康に努めていきましょう（今田）